

経営比較分析表（令和5年度決算）

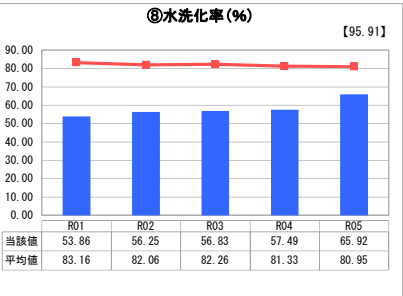
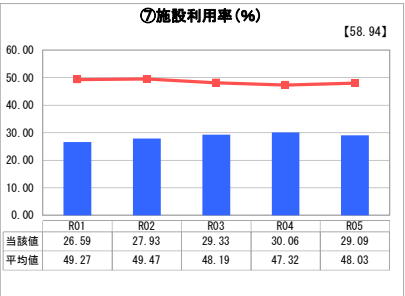
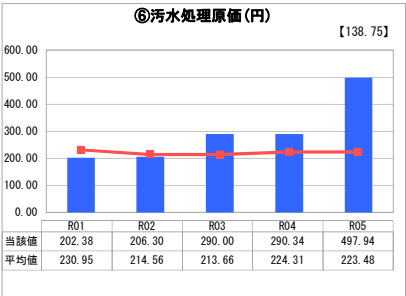
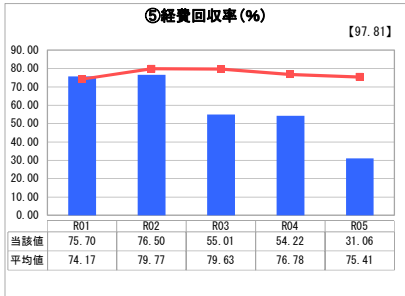
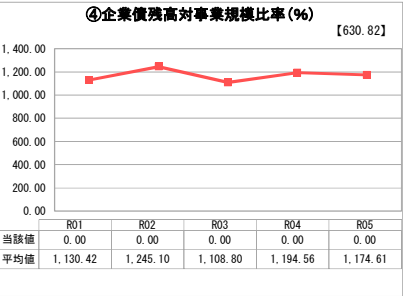
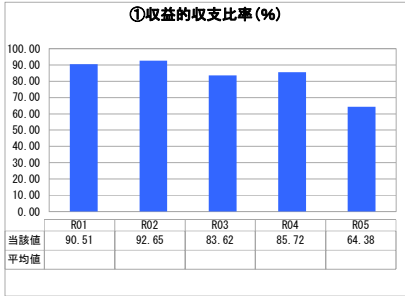
長崎県 杵岐市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Od2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	13.76	100.21	3,040

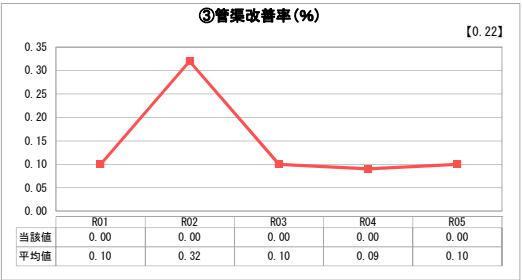
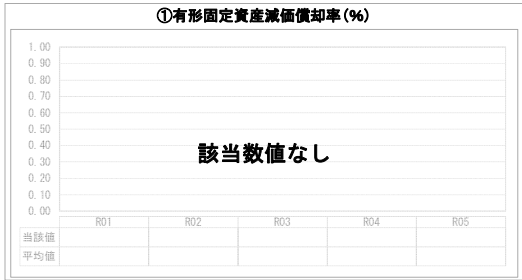
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
24,360	214.31	113.67
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,301	1.87	1,765.24

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市では、2つの処理区（北部処理区、中央処理区）で公共下水道事業を実施している。①収益の収支比率及び⑤経費回収率は100%未満であるが、令和2年度に公共下水道の整備が完了したため、今後、公共下水道への加入増加に努めることで使用料収入を増やす必要がある。比較的使用水量の多い、宿泊施設、病院などで未だ接続がされていないところについては加入推進に努めたい。①⑤⑥については、公共下水道区域については令和5年から市の独自政策として受益者負担金の返還を行っており、その影響で数値として表れている。突発的な経費であるので返還終了後は例年と同等の数値に近づくと考えられる。

2. 老朽化の状況について

当市では、2つの処理区（北部処理区、中央処理区）で公共下水道事業を実施しているが事業着手年度が平成7年であるため、比較的新しい状況である。

全体総括

当市の課題は接続率が低いことに起因する使用料の収入の少なさである。使用料収入の確保に努めるため加入推進を強化し、加入者増に努めることが重要である。また、長期的な課題としては、将来の管渠更新を見据え、定期的な点検等により、適切に維持管理を行うことで、トータルコストの削減に努めることが重要である。一方で、今後想定される人口減少社会に鑑み、維持管理計画等の見直し（予算の平準化）を検討する必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。